

国際理解

アフリカ支援と取り組み



アフリカ支援

1999年7月、36団 OG であり、現在はアフリカ理解プロジェクト（以後「ARP」）の代表としてアフリカ支援の第一線で活躍されている白鳥くるみさんからタンザニアの教育の現状についてお話を聞きました。その国では一握りのこどもしか中学校に行けず、特に女子の就学率が非常に低いという現状を知らされました。1999年9月、中学生1年間の教育費1万円を送るための募金活動が始まりました（キリマンジャロ奨学生基金）。2004年までの6年間、形を変えながらタンザニアへの奨学金支援を続けました。

2004年、エチオピアへ活動の拠点を移したくるみさんは ARP を発足。36団は ARP と連動し、アフリカンフェスタやグローバルフェスタでのワークショップ、エチオピアの学生たちとのテレビ会議、本格アフリカ料理を作るワークショップなど、アフリカ理解を広めるためのさまざまな活動に取り組んできました。

エチオピアの女子学生への奨学金支援も続けています。2011年、36団の支援を受けたバリテ・ボセッさんは短大を卒業し地元の農業組合で元気に働いています。2013年、現在の奨学生であるバリテ・ジロさんも大学に合格しました。2006年に森井元リーダーと熊さん、2007年に森井リーダーと藤井リーダー、2011年に高本リーダーと長野11団の塚田リーダーがスタディツアーを兼ねて現地を訪問し、二人のバリテさんに対面を果たしました。

タンザニア支援：1999年～2004年

エチオピア支援：2003年～継続中



白鳥清志さん・くるみさんご夫妻



2009.10 アフリカンクッキング
ARP と本格アフリカ料理のWS を共催

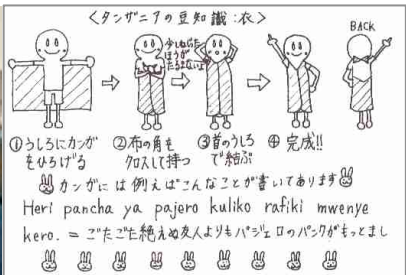


2007.2 リーダーによるスタディツアー
森井L・藤井Lとバリテ・ボセッさん（中央）



2011.11 リーダーによるスタディツアー
高本Lともう一人の奨学生バリテ・ジロさん

● アフリカンフェスタ



手作りカンガ人形で東アフリカの民族衣装カンガの着せ替え人形、アフリカの国旗や動物のぬりえ、アフリカクイズなどのコーナーを作り来場者たちにでにぎわいました。



2010.12.13 世界銀行にて「エチオピア人学生とのテレビ会議」参加36回は「HELLO」の歌をうたいました

● グローバルフェスタ



ARPブース前に現れた流しの紙芝居屋さん。「エチオピアコーヒー伝説」の紙芝居パージョンです。エチオピアの民族衣装とたいこの音にこどもたちが集まりました。



2011.2 アフリカンキッズクラブ在日アフリカの子どもたちとの交流

● クリスマス会2009「つむぐ つながる 感謝」



くるみリーダーをお招きしてのクリスマス会。ブラウニーはパトロールごとにカンガを作りました。カンガには様々なメッセージが込められています。ジュニアはジャンベをたたいてたいこの音の劇、年長部門とヤングリーダーでコーヒー伝説の劇をしました。



筆筒町地域センターまつりにて「コーヒー伝説」の紙芝居をしました



2012.6 青年海外協力隊でケニアに赴任していた尾上元リーダーによるアフリカの講習会

● 洪水災害の支援



2010年にエチオピアのベソカ湖が氾濫し、大規模な洪水が occurred。 「みんなの学校」の校舎、GRFの現地事務所、教会、学生寄宿舎などが浸水しました。

浸水被害を受けた建築物の総額は1200万ブル（注：8.5千万円）ともいわれ、被害の大きさを物語っています。36団体はつもり貯金や寄付金を募り、くるみリーダーを通じて128,168円を現地に送りました。



2009.10.18 スタンドアップティクアクション。貧困のために立ち上がろう！という活動。総勢52名が参加